

平成28年度「事業計画と予算」を審議、決定

産業振興財団では、2月23日に理事会を開催し、新年度事業や予算の審議をいたしました。指定管理期間が平成30年3月まで2年間延長となり、財団事業の充実について意見が交わされました。

我が国経済は、新興国経済の減速や国際情勢の混迷、産業構造の変化等を背景に先行き不透明な状況にあります。当財団においても、これら経済・社会の動向をふまえ、さらに事業の充実を図ってまいります。

平成27年度は、新規事業である「^{せきがく}夕学サテライト」や起業支援の連携などに取り組むとともに、明石市の空き店舗活用補助金、創業支援助成金の事務局を務めるなど、積極的に事業を推進いたしました。平成28年度も引き続き、事業の効率的な運営と地域経済への幅広い支援活動に取り組んでまいります。

(詳細は財団ホームページに掲載しています)



「^{せきがく}明石夕学サテライト」



～親子で楽しむロボット教室～
 高専ロボットジャンボリー

<平成28年度の重点的な取組み>

1 専門家による企業訪問、経営相談の実施

専門家による企業訪問を実施します。
 地域企業の状況把握とともに経営課題の解決を図ります。

2 起業・第二創業、経営革新に対する支援

これまで構築してきた市内創業支援機関とのネットワークを活用し、起業者の支援を行います。
 また第二創業等の経営革新を支援します。

3 産学官連携による人材育成事業の充実

大学関係機関、教育・研修機関等との連携により、新たな人材育成事業を実施します。

4 貸館利用サービスの向上

貸館運営システムによる利用状況の分析やサービス向上会議の取り組みにより、新たな顧客の開拓や一層のサービス向上を目指し、利用促進と満足度向上を図ります。

『高専&工技センター ものづくり支援セミナー in 明石』を開催

—第7回目を2月10日に開催！ 企業や支援機関の関係者等100人が参加—



第1部の基調講演では、『経営トップが考える！強い中堅企業をつくる条件とは』をテーマに、自動車の自動変速機（AT）用のトルクコンバータでは世界トップシェアを誇る株式会社エクセディの取締役会長清水春生氏から、65年間赤字なしの会社経営や人材教育・活用などのユニークな取り組みで世界24ヶ国、42社のグループ企業に成長させた4つの秘訣をお話いただきました。

- ①経営トップが即断、即決をすること。
⇒経営トップに情報が速く上がる仕掛けづくりが大切である。
- ②経営トップの考えを全社員に浸透させること。
⇒経営理念・方針や企業活動を見える化し、迅速にすべての社員に伝え社員から共感を得る。
- ③社員の帰属意識と愛社精神を涵養すること。
⇒この会社で働いてよかったと思える社員のための会社となる
ことが競争力を高めることに繋がる。
- ④社員満足度の向上に努めること。

そして最後に「強い中堅企業がより成長するためには、託せる人財、自分の分身をつくる気概が欠かせない」と説かれました。

第2部は、明石高専OBでNPO法人ACT135明石会員の永指彰三氏による「ものづくりにおける技術要素の共通性および自動車部品の品質信頼性評価について」と、兵庫県立工業技術センター主任研究員の阿部剛氏による「精密測定とそれを取り巻く周辺技術～工業技術センターの精密測定技術～」の技術講演が行われ、ともに品質改善に資する内容となりました。

・・・ 産業技術の最先端施設を視察・・・

2月19日（金）、市内企業関係者20名が尼崎市にある2施設を視察しました。

◆岩谷産業株式会社 中央研究所 ～水素エネルギーの研究開発拠点～

2013年4月に新研究開発拠点として開設。水素エネルギー社会への動向の解説があり、2050年には日本国内だけで約8兆円の市場規模となることを学びました。その中で、同研究所はいち早く最先端でフレキシブルな設備を擁して多彩な実験ができる環境にあること、研究、委託実験、技術支援やコンサルティングなど技術のワンストップサービスが行われている状況を視察できました。



◆一般財団法人近畿高エネルギー加工技術研究所（略称AMPi）～近畿で活躍する技術支援拠点～



1993年に地域企業への技術支援を目的に設立された公設民営の機関。高集束レーザ、PVD装置および減圧プラズマ装置等の高エネルギー密度熱源を駆使した加工技術の調査・研究開発を通じて、各種機器・装置による試験とそれに関する技術支援を行っている。2001年に設立された「ものづくり支援センター」の機器・装置を見聞し、自社で利用できることを知ったことが今回の視察の大きな成果であると多くの声がありました。

技術実習講座「シーケンス制御の基礎を学ぶ」受講生募集

毎回好評の実習講座です。シーケンス制御の基礎とPLCの初歩的な使い方を学びたい方を対象に、実習を多く取り入れ、少数の受講生を複数の教員で指導します。

- ◆受講場所 明石高専 電気情報工学科 電気電子基礎実験室
- ◆開催予定 5/14・21・28・6/4（土）の4回
- ◆募集定員 10名（先着順）
- ◆受講料 15,000円（テキスト代込）
- ◆申込み先・お問い合わせ 明石市産業振興財団 TEL:078-936-7917 FAX:078-936-7916



講座風景

支援機関の紹介

兵庫県立ものづくり大学校

●概要

兵庫県立ものづくり大学校は、①次代を担う人材育成、②匠の後継者育成、③技能レベルに応じた在職者訓練などを行う「姫路職業能力開発校」（平成23年4月開校）と、④中学生を主対象としたものづくり体験を通して職業教育を行う「ものづくり体験館」（平成25年1月開館）を一体的に整備し、学校教育から職業生活までの各段階に応じた総合的・体系的な人材育成拠点（＝大学校）としての役割を果たすことを目的として設置されました。（詳しくは、ホームページをご覧ください。http://www.monodai.ac.jp）

ものづくり力を高める「ものづくり技能講座」

ものづくり大学校では在職者の方へのさまざまな技術・技能向上を図るメニューを用意しています。ぜひご活用ください。（ホームページの「受講申込書」に記入してFAXにてお申し込みください）

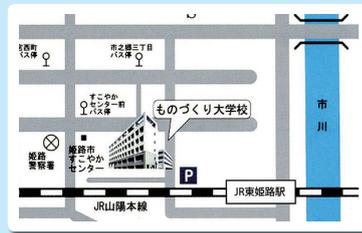


汎用旋盤技能習得コース

講座名	内 容	コース名
ものづくり技能基礎講座	入社1～2年目までの入門者等を対象とした基礎技能の習得講座	「汎用旋盤入門」、「はじめての溶接入門」、「わかりやすいNC旋盤」、「マシニングセンタI(3軸)」「CAM操作編」、「2次元CAD入門」、「3次元CAD入門」、等12コース16講座。総定員 165人
ものづくり技能応用講座	中小企業等の中堅・若手技能者を対象とした熟練技能継承をめざした講座	「汎用旋盤技能習得」、「溶接中級コース」、「産業用ロボット特別教育」、「マシニングセンタII(3軸)」「加工・段取り編」、「大工技能向上講座」等11コース12講座。総定員 103人
資格試験対策講座	業界団体と共催実施し資格取得をめざす講座	「アーク溶接特別教育」、「ガス溶接技能講習」、「金属塗装」等12コース24講座。総定員1,080人

●連絡先

兵庫県立ものづくり大学校
〒670-0943 姫路市市之郷1001番1
TEL 079-240-7363 FAX 079-281-6626
JR東姫路駅下車 北西徒歩4分



～頑張るあかしの企業を応援します～

国内外の展示会等への出展助成を希望する市内の中小企業を募集します！

明石市産業振興財団では、平成26年度から市内中小企業の皆様が開発した製品や技術の販路開拓を支援するため、展示会・見本市への出展料等の一部を助成する制度を設けています。

今年度の募集は次のとおりです。奮ってご応募ください。

・募集要項等の詳細は、財団ホームページ (<http://www.aicc.or.jp/>) の「トピックス」または、明石ものづくり企業紹介 (<http://www.aicc.or.jp/mono/>) の「最新のお知らせ」に掲載しています。

【概要】

■助成対象は国内外で、平成28年6月から平成29年2月までに開催される展示会や見本市です。

◆対象となる経費の1/2以内で、助成上限額は20万円

(ただし、過年度に助成を受けた企業は10万円)

◆申請期間：平成28年4月1日(金)～5月20日(金)(必着のこと)

【申請先・問合せ先】

明石市産業振興財団 企業支援係
〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7(明石市立産業交流センター3階)

電話番号：078-936-7917 E-mail：info@aicc.or.jp

平成28年度慶應MCC「^{せきがく}明石夕学サテライト2016前期」スタート

東京「慶應丸の内シティキャンパス」の定例講演会『^{せきがく}夕学五十講』から
年間30講演を「明石市立産業交流センター」でライブ中継します。

- 会場：明石市立産業交流センター 3F情報ライブラリー
- 受講料：各回1,000円（受講回数券4,500円／5回）
- 申込・問合せ：明石市産業振興財団（TEL078-936-7917）
- 時間：18:30～20:30
- 詳細：財団HPに掲載

1	4/13.水	竹中 平蔵 慶應義塾大学総合政策学部教授・グローバルセキュリティ研究所所長	「歴史の名言から未来を読む」
2	4/14.木	楠木 建 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授	「長期利益の源泉を考える：オポチュニティとクオリティ」
3	4/19.火	山本 昌 スポーツコメンテーター	「継続する心」
4	4/27.水	山根 節 早稲田大学大学院教授(ビジネススクール)・慶應義塾大学名誉教授(ビジネススクール)	「なぜあの人は経営のプロと呼ばれるのか？」
5	5/27.金	姜 尚中 東京大学名誉教授、熊本県立劇場館長	「悪との向き合い方」
6	5/31.火	山岸 俊男 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 特任教授	「安心社会から信頼社会へ」
7	6/2.木	石坂 典子 石坂産業株式会社 代表取締役	「自然と地域が共生を目指す～共に育み、共に栄える、100年先の企業づくり～」
8	6/8.水	高田 朝子 法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授	「女性マネージャーを育む、活かす、押し上げる」
9	6/16.木	荒木 香織 兵庫県立大学環境人間学部 准教授	「ラグビー日本代表チームを変えたメンタルコーチ」
10	6/20.月	塩沼 亮潤 仙台市・秋保 慈眼寺 住職	「いつも明るい心で生きて行く」 ※休館日ですが開催します(北側正出入口より入館下さい)
11	6/30.木	原 晋 青山学院大学陸上競技部監督	「東京オリンピックに向けての陸上改革」
12	7/1.金	鎌田 浩毅 京都大学教授・地球科学者	「日本列島に迫り来る火山と地震の危機 －「大地変動の時代」を生き延びる－」
13	7/8.金	小松 和彦 国際日本文化研究センター 所長	「日本の妖怪文化 –その歴史と特徴–」
14	7/13.水	一條 和生 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 研究科長 教授・IMD特任教授	「実践経験を通じて培った実践知としての「リーダーシップの哲学」 －リーダーシップ・ジャーニーを歩むために－」
15	7/28.木	名和 高司 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 特任教授	「CSV経営 －高収益と社会問題の同時解決を目指す」

●上記の予定は、都合により変更になることがあります。※講師は東京会場で講演します。

産業交流センター3F 情報ライブラリーのお知らせ

★「^{せきがく}明石夕学サテライト」で中継された講師の著書も一部取り揃えております。

諦める力 / 為末 大	幸せの日本論 / 前野 隆司
経済学のセンスを磨く / 大竹 文雄	システム×デザイン思考で世界を変える / 前野 隆司
格差と希望 / 大竹 文雄	幸せのメカニズム / 前野 隆司
競争と公平感 / 大竹 文雄	戦略的交渉入門 / 田村 次朗
人を助けるすごい仕組み / 西條 剛央	ハーバード×慶應流 交渉学入門 / 田村 次朗
人を動かし、自分を導く リーダーシップ / 野田 稔	スティープ・ジョブズ 1・2・3 / ヤマザキ マリ
二流を超一流に変える「心」の燃やし方 / 野田 稔	億男 / 川村 元気
本当の仕事 / 榎本 英剛	仕事。 / 川村 元気

産業・経営関係のDVD・ビデオ等の視聴覚資料も所蔵しています。社内研修の教材として、ぜひご活用ください。(利用無料)